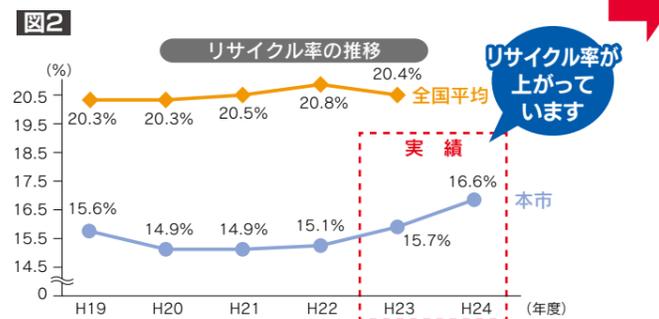
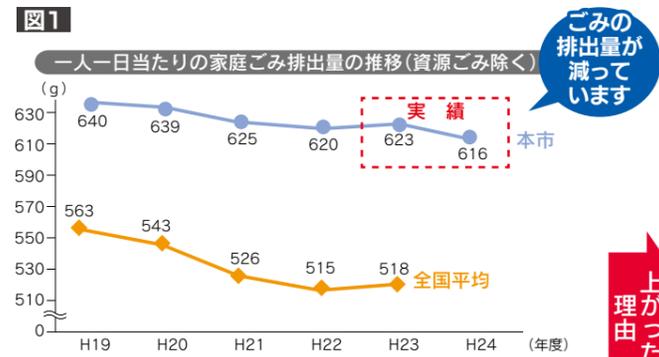
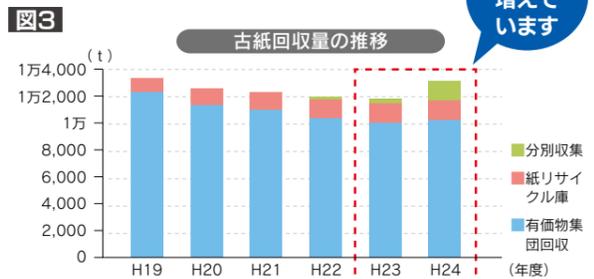


ごみ減量 これまでの実績



昨年度のごみ減量の実績です。ごみの量(図1)、リサイクル率(図2)とも、全国の平均値にはまだ及びませんが、着実にその差が縮まっています。



■実績アップの主な理由は「古紙回収量の増加」

これまで可燃ごみとして出されていた古紙が、分別収集の開始により数多くリサイクルされるようになりました(図3)。これは、市民の皆さんが小さな紙くずも可燃ごみではなく、大切な資源としてリサイクルしてくれた成果です。ありがとうございました。

また、減少傾向だった有価物集団回収の回収量が増えたことは、地域の活動が活発になったことを表しています。これからもご協力をお願いします。



私たちがG活します

合言葉はG活! 未来の笑顔のために

「目指せごみゼロ! G活講座」を受講した一中の皆さんに、今後の目標を聞きました。

ごみ減量のお願い

G活チャレンジ! 100

問い合わせは
ごみ減量課 ☎ 027-898-6272

■始めます「G活チャレンジ! 100」
本市の1人1日当たりのごみ排出量は、人口10万人以上50万人未満の全国241市の中で、なんと194位。そこで本市は、これからの3年間で1人1日あと100g減量することを目標とし、ごみ減量のプロジェクト「G活チャレンジ! 100」を始動します。

■ネーミング
「みんなでごみの減量活動(=G活)に取り組み、1人1日100gのごみ減量に挑戦しよう」という意味を持っています。就活や婚活などの“〇活”からヒントを得ています。
※“じーかつチャレンジひゃく”と読みます。

ご家庭でお願いしたい『6つのG活チャレンジ』

- チャレンジ1 分けます! 紙はとことんリサイクル**
今は紙箱や小さな紙もごみにしない時代。古紙の生まれ変わりにご協力を。
- チャレンジ2 分けます! プラスチックの“包み・入れ物・袋”**
難しいと感じるプラ容器の分別。でもプラマークを目印に“ちょよいのちょい”。
- チャレンジ3 捨てません! だれかにとっては価値ある衣類**
衣類は海外での中古衣料や工業用雑巾として再利用可。とても価値ある資源です。
- チャレンジ4 ギュッと! 生ごみ水切りダイエット**
一握りで約10%のダイエット。嫌な臭いも少し軽減されます。
- チャレンジ5 パクっと! 食べます最後まで**
家庭でもお店でも。食べ残すことがないように考えることがエコ。
- チャレンジ6 持ちます! マイはし、マイボトル、マイバッグ**
1年間で1人当たり200膳の割り箸を使用するといわれています。マイ箸やマイバッグなど、お気に入りのマイ〇〇探しから始めませんか。

次の3つの普及活動を充実させ、皆さんのG活を応援します!

- G活の講座・説明会**
そうだったのか! と思える内容の講座・説明会を、あらゆる機会を通じて行います。
●目指せごみゼロ! G活講座(中学生対象)
●環境美化推進員説明会(地域の環境美化リーダー対象) など
- G活情報の発信**
あなたに合う情報を、あなたに合う方法でお伝えします。
●フェイスブック いいね! まえばし (<http://www.facebook.com/maebashi-city/>) の活用
●高齢者に分かりやすい分別資料の発行
●転入者に丁寧な分別説明 など
- 参加・体験型G活イベント**
体験や参加のできる取り組み、イベントを実施し、新しい発見を提供します。
●目指せ! ごみゼロ ポスターコンテスト
●3Rバスツアーで清掃工場見学
●イベント会場にエコステーションを設置 など